

飯田市の地域公共交通総合連携計画について

現状・問題点

- 信南交通の路線バスからの撤退(平成22年3月目処)
- 公共交通空白地域・不便地域の存在
- 高校生、福祉施設利用者のバス利用低迷 等



事業概要

※地域公共交通活性化・再生総合事業を活用
【平成20年4月認定、交付額:5,000千円】

- 市民バスと乗合タクシーを併用した新たな千代線の運行
・ 朝夕・・・市民バスの定時定路線運行、昼間・・・乗合タクシー
- 市街地循環線の実証運行
- 統合時刻表の発行



計画の数値目標

* 平成17年度の数値

	平成23年度	平成18年度 (平成17年度)
市内の移動に不便を感じる市民の割合	35%	39.1%
市民バス利用者数	100,000人	99,978人
飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量	661,500t	721,584t *

総合事業計画

平成20年度	平成21年度	平成22年度
—	—	—
—	—	—
—	—	—

新たな千代線の実証運行
 市街地循環線の実証運行
 統合時刻表の発行